

銀漢亭日録



伊藤伊那男

9月22日(日)▼選句。十七時、中川家訪問。水産業で成功し、先日、成城に家を建てた。孫達の成城仲間。毛蟹大が五杯あり、私が解体役。ヘアメイクの中川さんに来て貰い、替わり番に三家族の八人が整髪して貰う。一週間前に、京都で散髪したが、やはり中川さんにもう一度。結局、夜中の二時近くまで宴会。
23日(月)▼選句。さすがに夏の疲れあり、仕事進まず。つい、うとうと。酒抜く。早々に寝る。
24日(火)▼ひまわり館「萩句会」の選句。あとずつと仕込み。「ひまわり句会」あと九人。西村麒麟君他。麒麟、「角川俳句賞」受賞！快拳！肖子さん他。
25日(水)▼店、辻村麻乃、歌代美通、佐怒賀正美、仙田洋子さん。仙田さんの句集出版祝いと。佐藤宏之助さん、遅ればせながらと、私の俳人協会賞受賞祝いに花束を届けて下さる。伊藤庄平さん。「雛句会」十四人と盛況。「童夢句会」あと四人。などなど。
26日(木)▼店、福永新祇さんの会(句会あと食事)四人。藤森壯吉さんの「聞句会」八人。二十二時に終わり、小太郎、井蛙、小石さんと「手打ちそば」わたる。久々。
2827日(金)▼「金星句会」あと七人。
28日(土)▼十三時、洗足駅。「纏句会」の面々十三人。まだ日本橋の「鰯の与志喜」が改修中にて、谷岡健彦氏のお世話で東工大教室を借りる吟行会。日蓮袈裟掛の松や、今月オープンした「大田区立勝海舟記念館」へ。映像も駆使した素晴らしい記念館。ゆっくり再訪したい。海舟の墓参。東工大教室にて句会。十七時過ぎ、大学前の中華料理店。谷岡夫人も参加。
29日(日)▼終日家。十一月号の同人評、会員評仕上げる。「第二十六回 俳人協会俳句大賞」の選考。予選後の六百余句から三十句ほどを選考して協会へ送付。

30日(月)▼伊那の坂下昭さん上京とて寄つて下さる。「未来図」の守屋明俊さん久々。「一八句会」あと五人。「演劇人句会」五人。今日、店担当の天野小石さん誕生日とて、洋さん、清人さん、ヴヰクリコで乾杯。
10月1日(火)▼客一人。超々閑散。仕込みに徹す。十九時半、見切りを付けて閉める。帰宅して家族と食事。こういう時間もまあいい。
2日(水)▼彗星集の秀句書いて十一月号の原稿終了。店、「きざらぎ句会」あと七人。「宙句会」あと八人。郷里の先輩、今井康之さんと岩波書店の方々。
3日(木)▼「十六夜句会」あと九人。武田編集長がゲスト。山田真砂年、寺澤一雄、菊田一平さん。北大路翼さん。外国人四人など。毎日新聞社今井竜さん、滋賀県の観光プロジェクトで俳句絡みでの応援につき、相談あり。近江好きの私、出来る事はやりたいてと答える。
4日(金)▼会員の石倉さん。皆川文弘さん、富山のチューリップの球根持つて来て下さる。「大倉句会」あと二十四人。
5日(土)▼終日家。「春耕賞」、五十七編の応募あり。予選十編送る。渡辺花穂さんの句集稿選句など。夕食、ステイキとワイン。
6日(日)▼「俳壇」アンケート「私の好きな女性俳人ベスト3」に答える。十六時、「京王プラザホテル」エミネスホール。「未来図三十五周年記念祝賀会」へ招待客で。控え室で宮坂静生、矢島渚男先生と信州人三人並ぶ。鍵和田先生は体調不良でお休みと、残念。
7日(月)▼親戚の五日市征和さん久々。花穂さん、選句稿渡す。木暮陶句郎、杉山香織さん来店。陶句郎さん、私の協会賞受賞祝いに、陶器三枚を焼いてきて下さる。各々、釉薬が違う。有難く。「かさぎ俳句勉強会」あと十人。
8日(火)▼パリの伊藤恵子さん(会員)、お嬢さんと。「火の会」

私を入れて九人。税理士さんグループ(大原簿記へ通っていた頃から来て下さっていた)。
9日(水)▼佐怒賀正美・直美ご兄弟。十九時より恒例の「Oh!月見句会」朽木直さん幹事で三十二名の超結社の方参加。「月」の題で三句持ち寄り。
10日(木)▼「足立俳句連盟」の小谷武生会長、矢作三志夫事務局長来店。来年五月五日の「足立区俳句大会」の特別選者の依頼を受ける。昭和二十五年から七十年続く大会。「極句会」あと十人。
11日(金)▼台風襲来につき店は休みとする。第二十六回俳人協会俳句大賞の選評。「銀漢賞」の選考に入る。今年も昨年と同じく七十九篇の応募あり。台風で備えて家族、硝子窓にテープを張ったり、レトルト食品などを手に入れたり慌ただしい。夕食は私が準備。
12日(土)▼「銀漢本部句会」の日ながら休止。台風襲来。終日家。読書、テレビ、昼寝など。家族で夕食。リビングルームも窓にプチプチシートを張り詰めたのでいつもより静か。
13日(日)▼高校の友人、北原泰明君と伊那谷、旧長谷村(現伊那市)の彼の生家を訪ねる約束あり。彼は既に実家入り。中央線切断にて高速バス予約すると取れたので新宿へ向かう。小田急線は不通ならず運休と。伊那行き断念。泰明君、松茸のすき焼など用意して戴いた様子。加藤恵介、三溝恵子さんも待っていて下さった様子で残念。高遠の酒蔵「仙醸」の黒河内靖先輩もお訪ねする予定だった……。台風一過の嘘のような好天。帰宅してエッセイや講演の用意。夕食、白菜鍋、寿司取り寄せ。千曲川決壊など台風の爪痕ひどし。ラグビーのスコットランド戦に家族熱狂。
14日(月)▼休日。午後から買い物。店にて仕込み。十九時まで。戻つて家族と夕食。
15日(火)▼十四時から十六時まで俳人協会四階で「第二十六回 俳人協会俳句大賞」選考会。大会賞、準賞を決定。委員八人。店はま

あ、閑散。
16日(水)▼午前中、銀漢誌の原稿。店、高校同期の「三水会」九人集まる。大野田さん持参の蝗、酒粕漬の瓜、塩イカなど郷土料理を楽しむ。久々、北原泰明君(先週、彼の生家に行く予定であった)。ともかくまだ信州との間は交通不通。
17日(木)▼台風十九号のあと、急に冷え込む。町中に金木犀の香り。店「銀漢句会」あと十二人。山田真砂年さん。
18日(金)▼発行所「萬句会」あと十人店へ。片山一行さん愛媛より。宇和島のジャコ天ほか、練物の土産。二十一時頃、片山さんの歓迎会の二次会で十人程来店。片山さん主導の通信句会「松前句会」の超結社の方々。
19日(土)▼十一時半、松屋銀座「大人の流儀 伊集院静展」を見る。日本橋に出て、喫茶店で作句。十四時、「鰯の与志喜」にて「纏句会」。選句までで退出。新幹線こだまにて、熱海経由で十八時、伊東駅。金井硯児、唐沢静男さんの迎えを受け、「お風呂すきの宿 大東館」に荷を置き。「創業 なんや」にて食事会。金井夫人、午前中から来ていた小石、うさぎさん、地元のホテル山室樹一さんと乾杯。二次会はカラオケラウンジ。久々、四曲ほど歌う。旅館に戻ってまた……。
20日(日)▼二日酔。温泉良し。十時、金井夫妻迎えに来てくれて、池の里という集落。山に囲まれた美しい田園ながら、九月の台風で稲は壊滅状態。集落の鎮守、山神社で榎の実を拾う。大室山の冬桜を見る。昼食あと南伊東駅から多賀。熱海公民館にて「天城句会」へ。六句出し句会。あと熱海駅前すし処「和楽」にて親睦会。十九時半、お開き。皆さんのお世話になり楽しい旅。二十二時頃帰宅。
21日(月)▼昨日、帰宅後、夜中二時くらいまで諏訪の講演会の構想を練る。午前中、続けて曾良についてだいたい纏める。「青垣」大阪の千坂希妙さん。「演劇人句会」五人。